

あずま
つよしの
東
つよしの



**市民の意見を
聞く会**
11月1日(金)
13時半~
市役所議会棟
にて

4万円値上げの試算！国保引き下げを

岡山市は8月に開いた国保運営協議会で、平成28年度に世帯あたり年間4万円も値上げをするとの試算を出しました。これは今まで続けている市財政



からの政策的繰り入れを中止した場合の試算です。岡山市の国保料は年収30万円の世帯で38万円にもなります。その上に4万円の負担増は耐えられませんが、市民団体や労働組合で構成する岡山市社会保険推進協議会は、国保料引き下げを求める署名運動を始めました(写真)。国保料が払えなければ保険証

地震に強い水道管へ 中央幹線の工事完成間近

環境消防水道委員会では9月30日、三野浄水場を視察しました。中心部を通る水道管をより強く耐震性のあるものに換える工事

が取り上げられ、病院にかかれなくなってしまう。東市議のもとにも国保料が払えないという相談が数多く寄せられています。署名の目標は10万筆です。毎年3万筆以上の署名を集めた結果、6年連続すえおきを実現しています。税金は不要不急の大型事業でなく、市民生活を守るために使うものです。署名を集めることが求められています。



を行っている。水道管の直径は1メートルから1.2メートル。番町交差点までの2.5キロを10メートルほどの深さを掘ってつなぐ工事です。工事は10月末で終わる予定です。写真は深さ8メートルの堅坑を上から見たものです。他の水道管についても、更新を進める予定です。

つよし

大森市長が生まれました。日本共産党以外はみな与党となりそうです。投票率は過去最低の33.34%で、大森氏の得票は有権者の13.7%です。公約に具体的なものはありませんでしたが、市民は白紙委任したわけではありません。選挙までは何十年も岡山を離れていた大森氏に市民の声を届ける論戦を挑みます。(東つよし)



9月議会報告

東市議は9月議会での個人質問を一问一答形式で行いました。以下報告です。

○TPP、介護…

国の悪政にモノが言えない

TPP（環太平洋連携協定）交渉について、政府は重要5品目を守ると公約しながら経過が明らかになりません。交渉を秘密にするとの協定に署名をしたからです。情報公開を国に求めること、市として反対することを提案しましたが、国に対

してモノは言わないという答弁でした。

9月4日、厚労省は要支援の高齢者に対する保険給付を廃止し、市町村に丸投げする方針を明示しました。150万人を保険対象外にするもので、来年の通常国会に法案を提出しようとしています。市の努力も台無しにするもので反対すべきと訴えましたが、市の答弁は何もしないというものでした。

他の共産党議員の消費税増税に反対すべきと質問しましたが、国の悪政にモノが言えない姿勢に終始しました。

○米価下落から農業守れ

米価が下がっています。政府が5年以内のコメを100万トン備蓄する棚上げ備蓄のルールを守ればコメのだぶつきはなくなりません。米価安定策を求めました。また朝日米の市内での消費拡大を提案し「推進する」との答弁を引き出しました。

農業の担い手を増やすために農地を借りやすくする事に

求めた結果、より小規模な農地でも借りられるようにしているという答弁を得ました。

○がん患者に介護保険

利用を

がんで日常生活に支障があっても、市は介護保険の利用に「末期がん」の条件をつけています。しかし国は「回復の見込みがないがん」としています。転移再発がんなどで主治医が判断すれば申請できるかをただすと「回復の見込みがなく…

介護が必要であるという状態が認められれば申請することが可能」という答弁を得ました。

介護保険の住宅改修補助は1割負担ですが、いったん全額支払わなければならないので、現物給付できるよう強く求めました。

○冷たい障害者施策を

ただせ

障害者総合支援法のサービスを受けている障害者が6歳になったとき、介護保険を申請しなかったことを理由に市が全てのサービスを取り上げた問題で、二度と起こさないようせまりました。

障害児のうけている日中一時支援が18歳になると受けられなくなり、親の負担が増えます。また紙おむつの支給は障害者を持った年齢で無料か全額自己負担で差別があります。これらの問題は倉敷市などの他都市ではすでに是正されています。当事者の声を伝え、改善を求めました。

